

2023年度インターゼミ
サービスエンターテインメント班研究計画発表

「平和都市」～広島の新しい観光を考える



<メンバー>

- ・学部生：寺垣美南、井上保奈海、片沼来夢
趙子昊、井上慶太郎、野上隆之介
- ・大学院生：池内晋史

- ・指導教員：桐谷 多恵子、今村康子、巴特尔

発表内容

1. 研究背景・問題意識
2. 研究目的・方法論
3. 研究の進捗状況
 - (1) 各国の歴史認識
 - (2) 広島観光政策と課題
 - (3) 国内外の観光客
 - (4) 若者の実態
4. 今後の計画（広島現地調査）
5. 参考文献

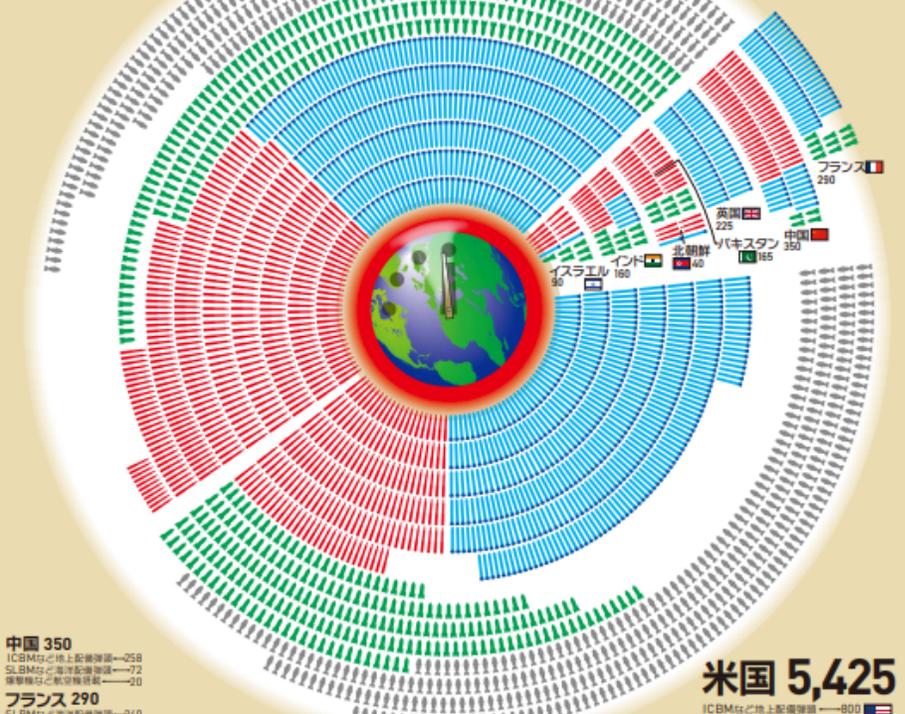
1. 研究背景・問題意識

- ・ロシアによるウクライナ侵攻、米中対立、台湾有事、グローバルサウスの動向、朝鮮半島、コロナ禍による移動と交流が阻害され→国際情勢が不安定化している。
- ・核の脅威と危険が迫る中、改めて平和の大切さを考えることは重要ではないのだろうか。また、世界で唯一の被爆国としての日本の役割とは何か。
- ・「平和都市」を標榜する広島市の取り組みと、その課題を踏まえてこれからの広島観光とは何か。同時に、被爆者なき後の広島旅行はどう変化していくのか。今後の社会の担い手として期待されるZ世代の問題関心を中心に新たな広島旅行の可能性を探ることは可能か。

存在する限りは使われる 世界の核弾頭データ 2022.6

ロシア 5,975

ICBMなど地上配備弾頭—1,660
SLBMなど海洋配備弾頭—1,735
爆撃機など航空機搭載—1,080
退役・解体待ちなど—1,500

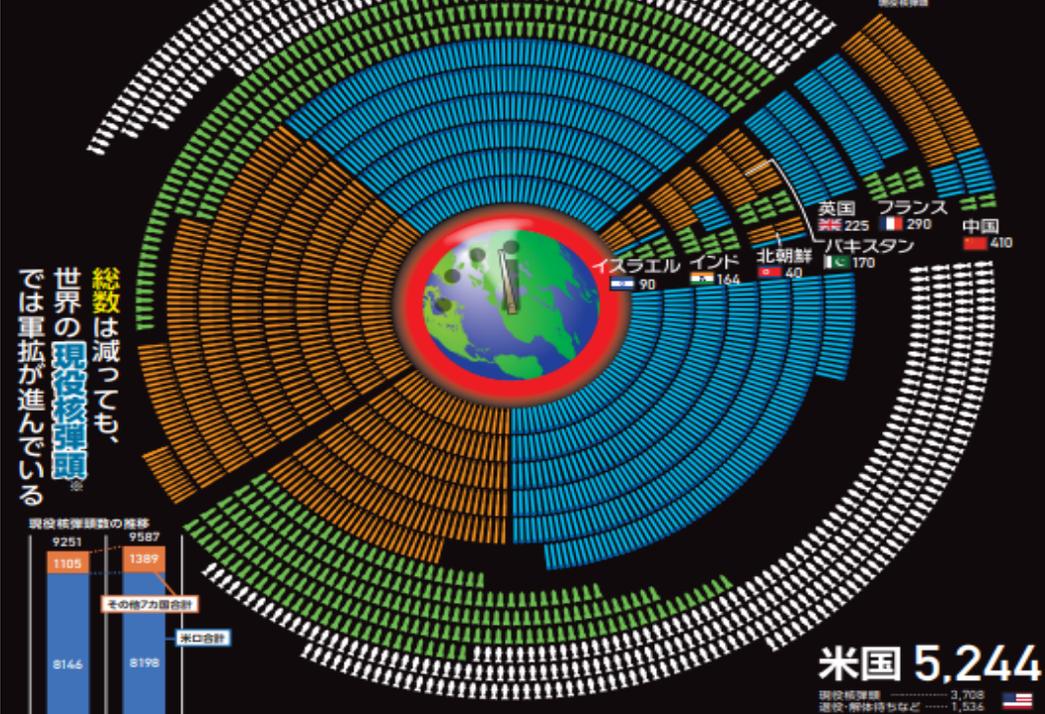


米国減少、フランス横ばい、それ以外の国は増加

存在する限りは使われる 世界の核弾頭データ 2023.6

ロシア 5,890

現役核弾頭—4,490
退役・解体待ちなど—1,400



総数は減っても、世界の現状は悪化では軍拡が進んでいる



各国ごとの増減 (2018—23年)

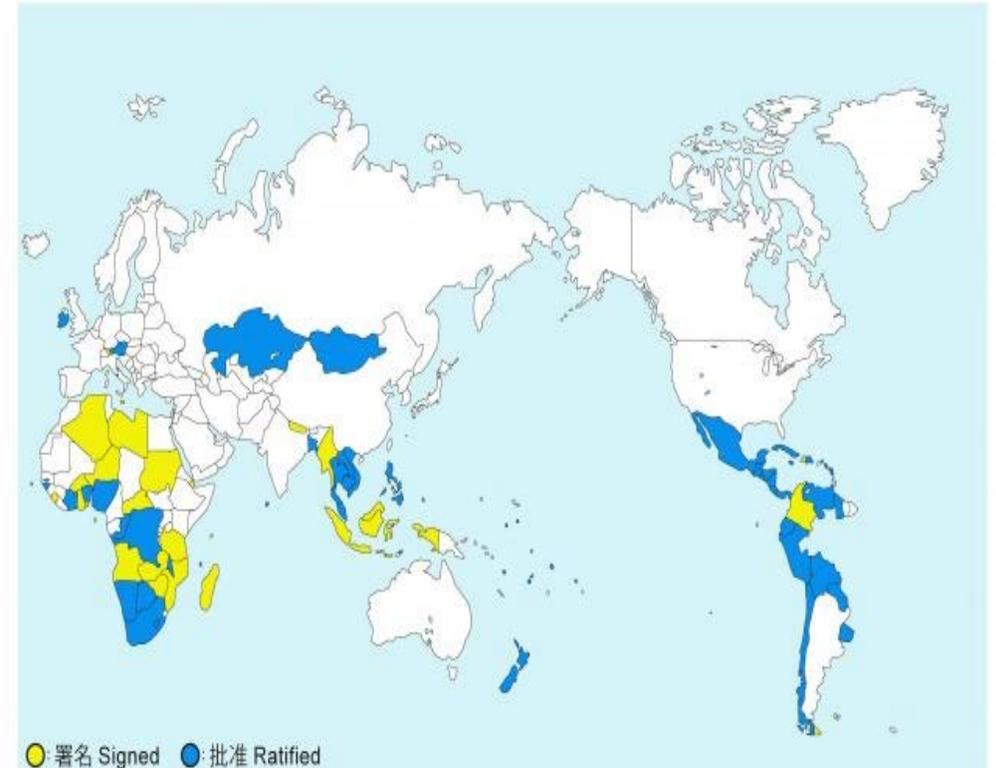
国	増減
ロシア	144
英国	92
中国	170
フランス	0
韓国	10
パキスタン	30
インド	39
イスラエル	10
北朝鮮	25
計	396

12,520

核兵器廃絶長崎連絡協議会/長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA) 作成: RECNA核弾頭データ追跡チーム。さらに詳しいデータは: <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/> 数字は丸めてあるため、実際の合計数と異なる場合があります。

核兵器禁止条約（TPNW）の課題

- 同条約は、核兵器の開発、保有、使用を全面禁止する初の国際法規である。オーストリアやメキシコなどが議論を主導し、2017年7月に国連で122カ国・地域の賛成で採択。2020年10月に批准国・地域が発効に必要な50に達し、90日後の発効決定。
- 2021年1月22日、米仏などの核実験が繰り返された南太平洋のサモアから発効開始。2023年1月9日現在、署名92カ国地域、批准68カ国地域。
- 同条約では、核兵器を「使用するという威嚇」まで法的に禁じる。核兵器の実験や移転、配備の許可も禁止事項に含む。核実験や核兵器の使用で被害を受けた人への支援、影響を受けた環境の修復に向けて必要な措置を取るよう求めている。
- 米国、英国、フランス、中国、ロシアの核保有5大国のほか、米国の「核の傘」の下にある日本や韓国は参加していない。



※地図はイメージです。

出所：日本経済新聞2021年1月22日付電子版、広島市公式ウェブサイト
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGN220QM0S1A120C2000000/>
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/atomicbomb-peace/212798.html>

2. 研究目的・方法論

研究目的

- ・近年、外国人観光客はじめ（オバマ訪問、G7）、広島注目度が高まっている。

本研究では、大学生世代の若者が個人旅行として広島へ行くときにどのような広島の観光があり得るか、それを考察したい。具体的には、ゼミ生自らが広島を訪れて、観光してみることを通じて、広島の新しい観光プランを提起したい。

研究方法：

文献調査とフィールドワーク、関係者へのヒアリング調査、実地調査

具体的進め方としては、①広島観光の現状把握（広島県市の取り組み、国地域別観光客数の推移、観光地など）②広島観光の課題と要因分析③新たな提案に向けた課題④今後の研究計画

3. 研究の進捗状況

(1) 広島市の平和への取り組み

広島市の平和への取り組みにおける基本方針

- I 戦後広島市の復興
- II 核兵器廃絶を目指した取り組み
- III 平和意識の醸成
- IV 被爆体験の継承・伝承

I 戦後広島市の復興

- ・ 広島平和記念都市建設法の施行

昭和24年（1949年）8月6日に、憲法第95条に基づく特別法により施行

→「恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴とし、広島市を平和記念都市として建設することを目的とする」（第1条）

→本法律の施行後に、広島市の都市づくりの方向性（平和記念都市としての役割）が決定

II 核兵器廃絶を目指した取り組み

- ・ 国内外の世論の醸成
- ・ 平和主張会議の充実強化
- ・ 平和宣言の作成・発信

III 平和意識の醸成

- ・ **こども平和の集い**
- ・ 中・高校生ピースクラブ
- ・ 若者による平和の誓いの集い
- ・ ヒロシマ・ピースフォーラム
- ・ **折り鶴再生紙によるピースメッセージ事業**
- ・ 平和文化月間におけるイベントの開催

IV 被爆体験の継承・伝承

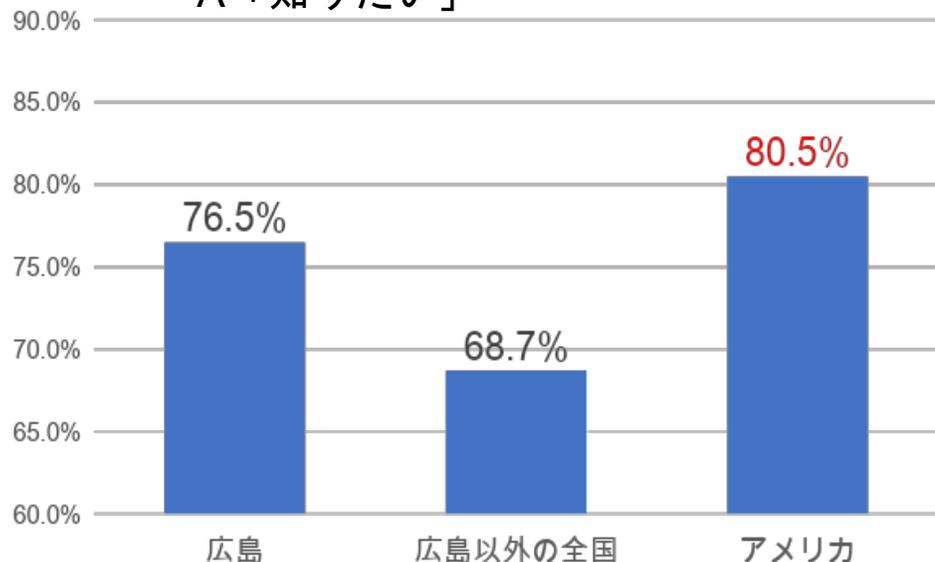
- ・ 被爆建物等保存・継承の推進
- ・ 広島平和記念資料館収蔵資料の保存措置の強化
- ・ 被爆資料の収集
- ・ **平和学習講座**
- ・ ユースピースボランティア事業
- ・ **修学旅行生への被爆体験講話**
- ・ **被爆体験伝承者による伝承講話**
- ・ 国際平和拠点ひろしま構想の推進

出所：広島市公式ウェブサイト「広島の平和への取り組み」

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/peaceinitiatives/>

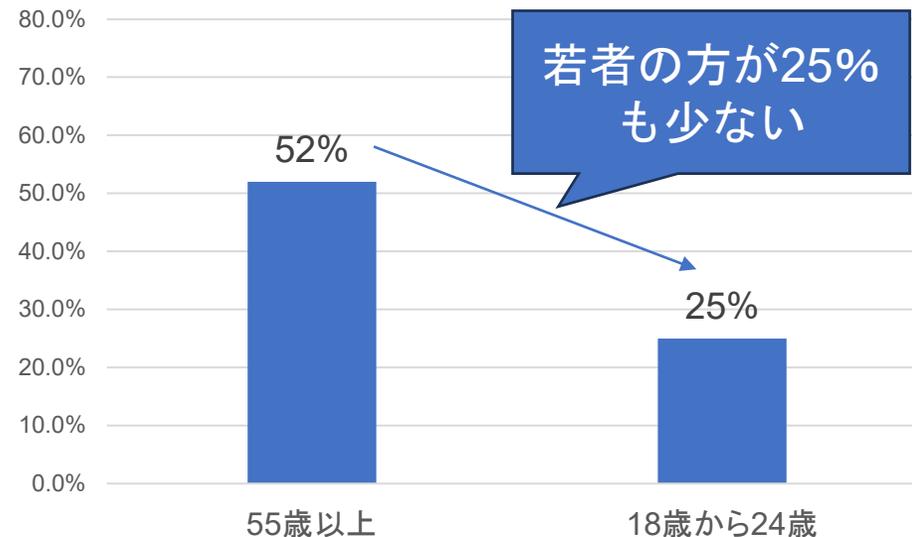
米国の原爆に対する認識

Q「原爆についてもっと知りたいと思うか」
A「知りたい」



(2020年にNHK広島放送が「平和に関する意識調査」として18歳から34歳を対象にインターネットでアンケートを行ったもの)

Q「原爆投下は正しい判断だったか」
A「正しかった」



(調査会社「YouGov」が2020年8月6日から7日に行った世論調査)

原爆投下によって戦争を終えることができたという認識



自国が原爆を投下した結果、何が起きたのか、本当のことが知りたいなど原爆投下に対する認識の変化がみられる

→ 米国の教科書は原爆の決定をめぐる賛成・反対の立場を学生に伝えようとしている

中国の歴史教科書にみる原爆への認識

- - 2000年版『中国近現代史』：31ページ
 - 2003年版『中国近現代史』：19ページ
 - 2004年版『歴史必修』：10ページ
 - 2007年版『歴史選修』：4ページ➤明治維新を成功例として高評価
 - ※広島・長崎への原爆投下は事実のみに留まり論評はしていない。
 - ※日本で言われている「反日教育」は行われていない。
- 「高考」（日本の大学入学共通テスト）では、過去3年間は日中戦争に関する出題なし。

韓国の原爆に対する認識

広島への原爆投下から60年後の韓国の新聞「東亜日報」

- ・日本が被爆国という被害者であることを強調。

	広島	長崎
被爆者	5万人	2万人
生存者	2万人	1万人

- ・日本は戦時中、韓国に対して行った侵略行為を直視せず、忘れようとしている。
- ・1945年8月の原爆投下当時、広島・長崎の市に十数万人程度の韓国人が暮らしていた。→広島と長崎合わせて約7万人が被害に遭い、2万3千人が韓国に帰国。
- ・歴史的事実の評価も、受けてきた教育も、マスコミ報道の内容も違う。
→原爆に対する意識も違う。互いに事実を知り、考えていくことが必要

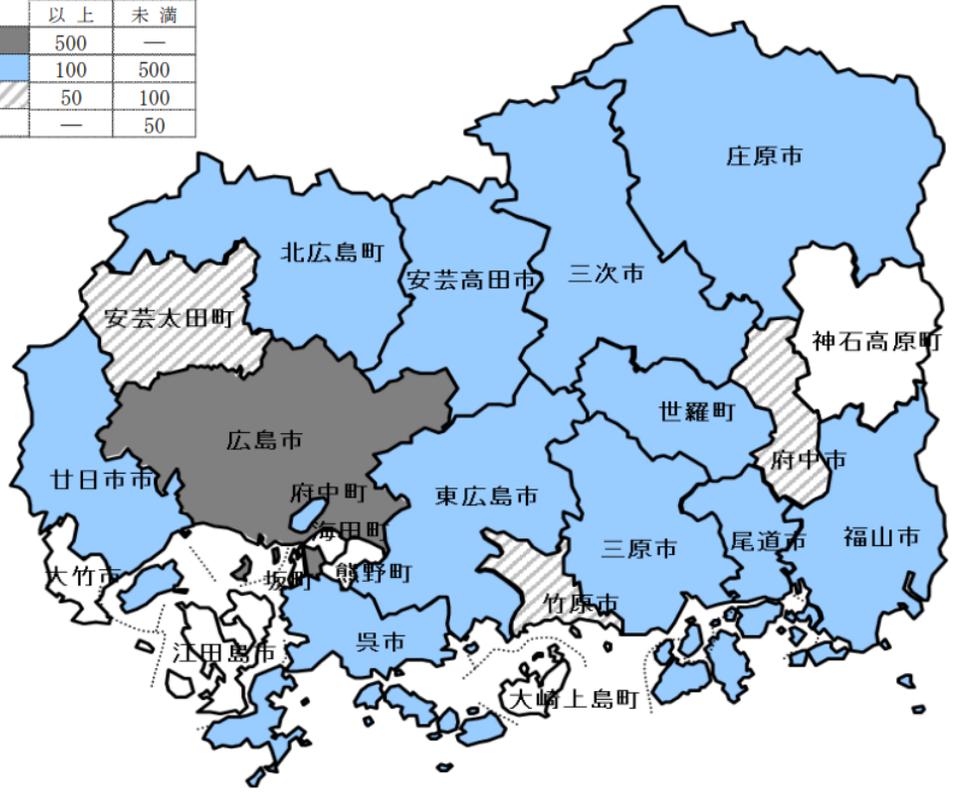
(2) 広島県の観光振興策と課題

目標	取組	課題	今後の解決策
地域の特色を生かした魅力ある観光地づくりによる新たな経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ▼県内周遊のモデルコース(原爆ドーム・宮島～呉、瀬戸内ひろしま全域)への誘客推進 ▼民間事業者との連携による事業推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▼2つの世界遺産に続く集客力の高い観光資源が育っていない ▼都市型観光の比率が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ▼広島ならではの歴史・文化・自然を「テーマ」にした観光の推進 ▼「ひろしま」「瀬戸内」の2つのブランド資源を生かした観光振興による県内経済の成長
観光客数の増加・観光消費単価の上昇	<ul style="list-style-type: none"> ▼県内周遊 ▼広域周遊 	<ul style="list-style-type: none"> ▼民間事業者が中心となった観光プロダクトの取組が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ▼国内観光客の認知度を向上させるためのブランディング ▼民間企業のプロダクト開発支援
国内外観光客の受け入れ体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ▼道の駅・海の駅の整備 ▼観光案内の多言語対応 ▼県内おもてなし人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ▼国内観光客の伸び悩み ▼国外観光客の県内での宿泊、周遊滞在にはつながっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ▼年間を通じた誘客につなげるための観光プロダクトの開発 ▼観光人材の育成
国際観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▼海外に向けた情報発信 ▼外国人を魅了する観光地づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ▼欧米に比べアジアからの来訪者が少ない ▼多様なニーズに応えるためのマーケティング力不足 	<ul style="list-style-type: none"> ▼特定国(欧米・アジア)をターゲットとしたプロモーションの実施 ▼外国人観光客がもつめる旅行商品の提供

(3) 広島県地区別観光客数の状況

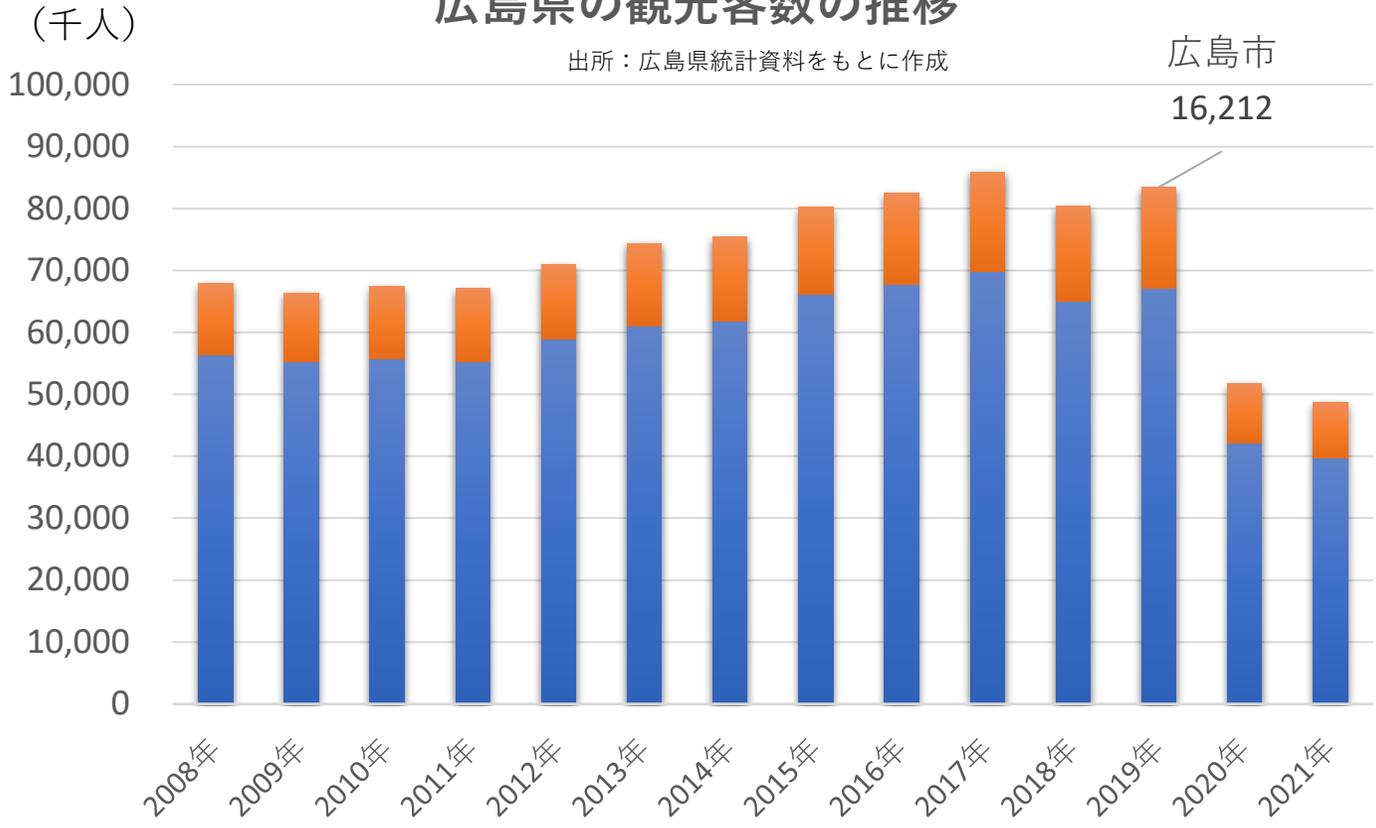
市町別観光客数の状況

模様	単位：万人	
	以上	未満
■	500	—
■	100	500
▨	50	100
□	—	50



広島県の観光客数の推移

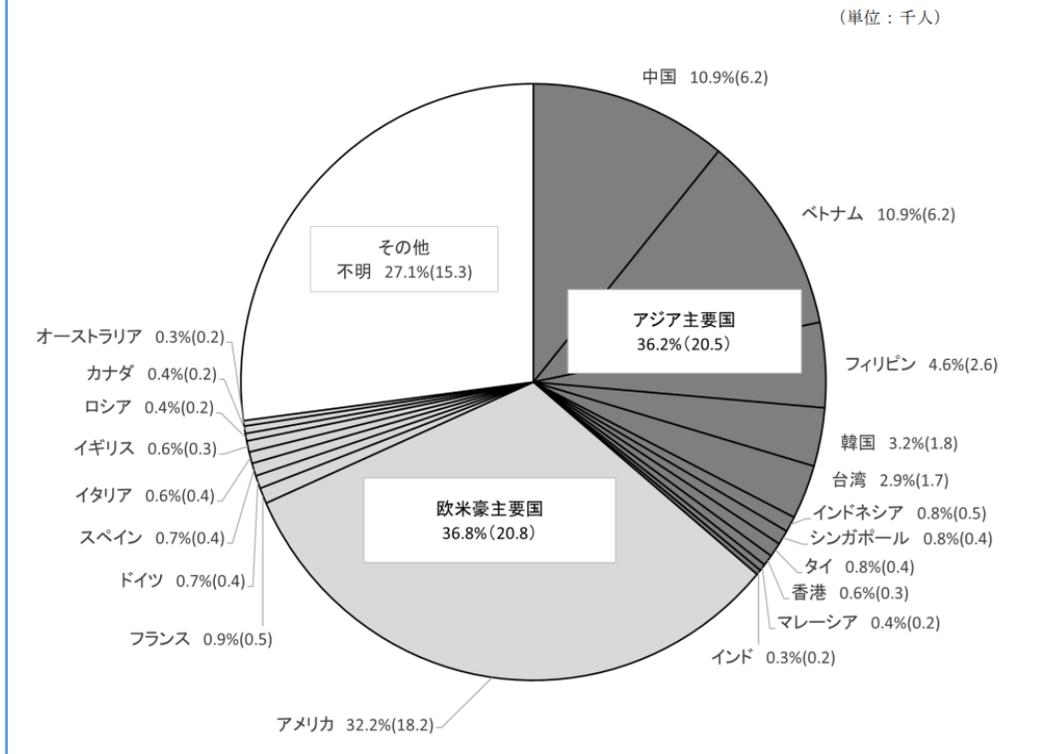
出所：広島県統計資料をもとに作成



広島市
16,212

市場別外国人観光客数の状況

国別観光客数の割合



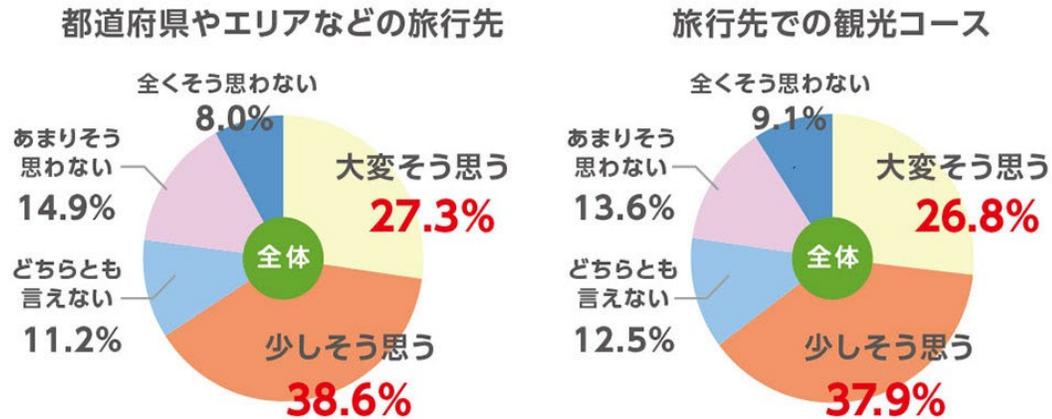
外国人観光客数の推移



出所:令和3[2021]年 広島県観光客数の動向 | & II 本文 p3, III-観光客数
統計表 p1 | ひろしま公式観光サイト | Dive! Hiroshima

(4) 若者 (Z世代) の旅行トレンド

旅行先や観光コースを決める際に、
フォトジェニックなスポットが影響を与えていますか？



・ **6割**を超える大学生が旅行先を設定する際に、**SNS**への投稿を意識。→「**フォトジェニック**」や「**インスタ映え**」なスポットの有無が、旅行先の決定に影響を与えている。

『マイナビトラベル』 「2018学生旅行白書」
有効回答数: 1,925名
(男子: 860名 / 女子: 1,065名)

- 広島観光における若者 {**Z世代**} のニーズは「宮島」、「尾道、しまなみ海道」 etc.であり、「平和記念資料館」等の**SNS映えしないダークツーリズム**としての観光ではない。
- 広島旅行者の9割は原爆ドーム、平和記念資料館を訪れているが、広島に期待することでは「見るだけでなく体験できる施設がほしい」「広島独特の味を楽しみたい」、「温泉施設を充実してほしい」などが上位を占めている。

4. 今後の研究計画

- 観光の行先としての広島
 - 広島を観光の対象として選ぶことの意味を考察していく。
 - ☆ なぜ人々は広島へ向かうのか？（なんで広島に行きたいと思うのか？）
 - 広島の復興の歴史に対して、希望を抱く外国人観光客の存在
 - 広島の歴史・文化・自然・産業（「広島駅弁当グループ」）など観光資源のポテンシャル
- 若者がどうしたら広島へいくのか？
広島観光はある意味で敷居が高い。→ この敷居を下げることはできるのか？
9月に広島現地調査の結果を分析してから論文の内容をしっかりと固めていく。
- 現地調査では、広島平和記念資料館の見学、学芸員のかたへのインタビュー、被爆者の被爆体験を実際に聞き、被爆者なき後の広島観光を考察するために「伝承者」などの被爆体験の継承を行っている方へのインタビュー。VR体験、等。

5. 参考文献（ウェブサイトを含む）

1. 寺島実郎『ひとはなぜ戦争をするのか』、岩波書店、2018年

2. 広島市来訪観光客アンケート調査結果

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/137645.pdf>

3. マイナビトラベル（学生旅行白書）

https://www.mynavi.jp/news/2018/06/post_17388.html

4. 広島市への海外からの賓客訪問実績 - 広島市公式ホームページ | 国際平和文化都市

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/49/10543.html>

5. 広島平和記念資料館 | 資料館について | 入館者数について

https://hpmuseum.jp/modules/info/index.php?action=PageView&page_id=136

6. 平和文化 No.201_10 海外からの来訪者が発信するメッセージ

<https://www.pcf.city.hiroshima.jp/hpcf/heiwabunka/pcj201/Japanese/10J.html>

7. 原爆の悲惨さと平和への想いを世界に伝える、HIROSHIMAで生まれたピースツーリズム | やまところ.jp

<https://yamatokoro.jp/report/32556/>

8. インバウンド人気観光スポットランキング3位「広島平和記念資料館」の人気の理由・インバウンド対策とは | 訪日ラボ

<https://honichi.com/ranking/touristattraction/hiroshimaheiwakinenshiryokan/>

9. <https://youtu.be/7DVJ2Ey6-UE>

10. 原爆資料館ドキュメンタリー

<https://www.youtube.com/watch?v=m9hOYpgleKE>

11. 「あれは77年前の私です」

<https://www.youtube.com/watch?v=lgrF5-2eNLA>

12. 平和公園に足を運ぶ外国人環境客に関する記事

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=130883&fbclid=IwAR2dNjBAnviqZUDph11DqlX5IMx85vXiFg4Or0YBJHmjlnk3VTOaGywddAk>

13. 平和記念資料館の入館者数

https://hpmuseum.jp/modules/info/index.php?action=PageView&page_id=136&fbclid=IwAR3RMqzWDLVN5tERVrmFHnSB3RUTRTcUZGNUMPTcO22Nov3civguxcS6G2E

14. 23年4月時点の原爆資料館の来館者数前年比大幅増

<https://news.yahoo.co.jp/articles/197f2481f71656f43574d71d9b027ca98a04b174?fbclid=IwAR29yaTDBbBz2mZ58WkRWmlhE-8GUwyar3HzkmJkXfrgO4HDmmibd2ZDfnQ>

15. 「政治マガジン」アメリカ人の8割以上「原爆についてもっと知りたい」

<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/statement/42800.html>

16. 「分断された記憶：歴史教科書とアジア戦争」

<https://www.nippon.com/ja/in-depth/a00703/>

17. 公益財団法人 放射線影響研究所 <https://www.rerf.or.jp/glossary/abcc/>

18. 放射線による晩発的影響の過小評価 中川保雄

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhsj/26/163/26_129/_pdf

19. 広島大学平和科学研究センター. 韓国人原爆被害者の研究の過程とその課題. 2012

file:///C:/Users/avanc/Downloads/hps_34_161.pdf

20. 碓井真史. 原爆に対する日米韓の意識：韓国「防弾少年団」原爆Tシャツの問題から2018年11月10日

<https://news.yahoo.co.jp/byline/usuimafumi/20181110-00103609>

21. 橋場紀子. 韓国人被爆者の「語り」から見た「被爆体験」の特徴2022

file:///C:/Users/avanc/Downloads/JGHSS8_205.pdf

22. 井上泰浩. 世界は「広島をどう報じたのか」2006

<http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/hiroshima-cu/file/1434/20140119135718/HJIS12-103.pdf>

23. 「日テレNEWS【アメリカ】広島・長崎「原爆投下」…アメリカの若者“意識”に変化が」 <https://www.youtube.com/watch?v=efUOyEjPZa0>

24. 「japan-guide.com」 <https://www.japan-guide.com/e/e2160.html>

25. 「JAL Guide to Japan」 <https://www.jal.co.jp/ar/en/guide-to-japan/>

26. 「おのナビ」 <https://www.ononavi.jp/>

27. Dive! Hiroshima 広島公式観光サイト 令和3[2021]年 広島県観光客数の動向
<https://dive-hiroshima.com/business/news/news-11473/>

28. 尾道市 令和4年(2022年)版 統計おのみち 観光
<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/2/18436.html>

29. 尾道観光協会 おのみち
<https://www.ononavi.jp/>

30. 一休.com ここは押さえておきたい！尾道のおすすめ観光スポット25選
<https://www.ikyuu.com/kankou/arealist8402/>

ご清聴、ありがとうございました。